



前後町長に審議結果を報告した渡部委員長(中央)

適性な補助金執行のため

町補助金適正化委員会審議結果を報告

町補助金適正化委員会の渡部昭委員長と白瀬隆夫副委員長は12月21日、前後公町長に委員会の審議結果を報告しました。審議結果には、補助金等の交付等に関する規則、要綱等を遵守し交付するよう徹底すること。継続して実施している事業であっても、事業内容をその都度精査し、現状の補助金等の中でより一層地域活性化につながる事業を実施するよう指導することなどが盛り込まれました。

いなわしろ天のつぶで日本酒開発

ブランド米を活用し6次化商品を開発

J A会津よつばは、「J G A P」の団体認証を受けている同J A猪苗代稲作部会が栽培した「いなわしろ天のつぶ」を使った日本酒「純米吟醸いなわしろ天のつぶ」を開発しました。完成報告会は1月4日、町役場で開かれ、土屋勇雄同J A理事らが前後公町長に報告しました。日本酒は会津若松市の辰泉酒造に委託し製造。火入れた「純米吟醸」は、1月中旬から720^{リットル}入りで2,700円(税込み)で道の駅猪苗代などで数量限定で販売しています。



前後町長に完成を報告した土屋理事(右)と齋藤勝則あいつ東部営農経済センター長(左)

火災から貴重な文化財を守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための「第65回文化財防火デー火災防御訓練」は1月20日、観音寺で行われ、消防団や消防署、地域住民ら約100人が参加し、文化財の搬出や初期消火、放水などの訓練を実施しました。訓練終了後、前後公町長が「訓練を拝見し、初期消火と皆さんの連携がいかに重要かを再認識しました。今後とも地域ぐるみの訓練や予防消防の強化に尽力をお願いします」と講評を述べました。



放水訓練を行う消防団員ら

町政発展を願い門松を寄贈

町シルバー人材センター・門松贈呈式

町シルバー人材センターは12月26日、町に手作りの門松を寄贈しました。町シルバー人材センターでは、町政発展と町民の幸せを願い、毎年寄贈しており、今回で18回目となりました。門松は高さ約60^{センチ}で、会員の佐藤正巳さんと小檜山光男さんが中心となって制作しました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、佐藤智昭理事長、秋山安徳副理事長らが前後公町長に門松を贈りました。



門松を寄贈した佐藤理事長(左から4人目)ら



勲記と勲章の伝達を受けた土屋さん(中央)

教育振興への功績をたたえ

前教育長土屋重憲さんへ瑞宝双光章伝達

秋の叙勲で瑞宝双光章を受章した前教育長の土屋重憲さん(壺下)への叙勲伝達式は12月19日、町役場で行われ、前後公町長が土屋さんに瑞宝双光章の勲記と勲章を手渡しました。土屋さんは昭和45年に教員となり、猪苗代中学校などの校長を歴任。平成20年10月から平成29年3月まで町教育長に就任し、長きにわたり教育振興に尽力されました。土屋さんは「受章は支えてくれた皆さんのおかげです」と感謝の言葉を述べました。

十三日市にぎわう

新春恒例十三日市が開催される

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。町商工会などで行う実行委員会が主催しました。オープニングセレモニーでは、神事を執り行った後、鏡開きを行ったほか、猪苗代町芸能保存会による太鼓の演奏が披露され、新年を祝いました。会場となった通りには、起き上がり小法師や風車、だるまなどの縁起物や飲食物の露店が並び、大勢の買い物客でにぎわいました。



だるまなどの縁起物を買求める来場者



前後町長から表彰状を受ける神田さん(右から2人目)

優れた生産者を表彰

いなわしろ美味しいお米コンテスト 2018

「第4回いなわしろ^{おいしい}美味しいお米コンテスト 2018」は1月17日、J A会津よつば猪苗代中央支店で開かれました。3部門に延べ20人が出品し、食味計などを使って味度値などを計測したほか、審査員が味や香りなどを評価しました。「いなわしろ天のつぶ」部門では神田忍さん(名古屋町)が首位に、「いなわしろひとめぼれ」部門は佐藤一則さん(百目貫)が金賞、「いなわしろ里山のつぶ」部門では土屋勇雄さん(壺下)が金賞に輝きました。

無火災・無災害を祈願

町消防出初式を挙げる

町消防出初式は1月6日、町内の諏訪神社で行われ、消防団幹部や関係機関などから約50人が出席しました。

今年1年の無火災、無災害を祈願して神事が執り行われ、関係者らが玉串をささげました。前後公町長が「消防団の皆さんには、町民の生命と財産を守るという使命のもと、なお一層尽力されるよう期待します」とあいさつ。五十嵐幸夫団長が「今後とも予防消防に努めます」と述べました。



諏訪神社で神事を執り行う出席者ら